



**お茶の水聖書学院**  
**NEWS**



〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台 2-1  
OCCビル2F  
TEL 03-3296-1005  
FAX 03-3296-4641  
e-mail office@obi-net.com  
Web http://www.obi-net.com  
お茶の水聖書学院  
お茶の水聖書学院後援会

# 創立20周年を迎えて



副学院長 藤原 導夫

今年、お茶の水聖書学院（OBI）

は創立20周年を迎えることとなりました。人間の成長で言えば20歳となったことになりました。人間20歳になるには、さまざまな人々の守りや支えがあればこそです。OBIもどれだけ多くの方々

のお祈り、お励まし、ご支援などをいただいできたことでしょう。今日に至るまでのそのような歩みを思い返し、深い感謝の念に満たされております。

この創立20周年を記念するために、今年はいくつかの特別な企画を立てております。もうすでにその一部は実行に移されましたが、7月初旬にはOCC理事長の村上宣道先生をお迎えして、軽井沢の恵

みシャレーでサマー・スクリーニングの時を持ちました。10月25日（月）には、OCCチャペルを会場に創立20周年の記念式典を開催する予定です。この式典に間に合わせるべく、多くの方々のご協力をいただきながら、「20周年記念誌」の作成にも取り組んでいます。そして来年春には聖地イスラエルへの旅、来年秋には宗教改革の地ドイツ・スイスへの旅を計画しております。

20周年を迎えるにあたり、あらためてOBIがこれまで掲げてその実践に取り組んでまいりました「理念」を再確認することの大切さを覚えさせられています。

「OBIは大宣教命令に従って、主と教会に仕えます。日本の福音化のためには、働き人が多く興こされることが必要とされています。そのために聖書的実践的伝道能力を培うことを強調します。聖書的、福音的、正統主義の立場を保持し、超教派的、国際的視野をもって神学教育と実践的伝道訓練を展開します。」

ここに述べられていますよう

に、この日本において福音による宣教がなされ、そこに教会が形成されることのために、主と教会に仕える信徒の方々一人でも多く育成され整えられていくことに協力させていただくことがOBIの存立の理由であり目的です。

OBIではいつも開かれる次の御言葉があります。「そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによつて強くなりなさい。多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい」と勧められています。

そのような役割を担って主と教会のために役立つ人材が一人でも多く起こされることがいつでも必要とされていると思います。OBIの営みを通して、そのような働き人が一人でも多く生み出されていくならば嬉しく思います。

# サマー・スクーリング報告

## 浪井弘子（研究科生）

さわやかな緑の中、3日間の全日程に参加しました。

開会礼拝で藤原師の詩篇百三篇「主のよくして下さった事を何一つ忘れるな」というみ言葉に主の臨在と共に深い霊的感動を受けました。世良田師による「写真で辿るOBIの歩み」の1コマ1コマをみて大変懐かしく、皆さんタイムスリップして若やいだ歓声がありました。

2日目の藤原師による使徒の働きの説教は、1章8節のみ言葉より教えを受け、まさに私達はこのみ言葉に立ち、弱い者が強くなり、主の証人として力を与えられ歩み続けるべく、再献身しました。主講師である村上師からは力強いメッセージを聞く事が出来ました。先生はユーモアと自身の豊か

な経験を通して、教会の成長はプログラムや方策に最優先して、み言葉と祈りであると教えられました。個人個人の信仰生活が組み合わされて力になっていく、という基本の姿勢を使徒の働きの9章31節から話され、ますますみ言葉と祈りに励まなければと心が燃えましました。

この3日間、豊かな自然の中で、新しい方々や久しぶりに逢う学友



とも良き交わりをさせていただき、最高の時を過ごす事が出来た事は感謝でした。いつもいらした増田先生が来られなかった事は、大変淋しかったです。

来年もまた皆様と軽井沢の緑の中で、学びたいと願いつつ。在

## 篠田一志（本科生）

OCC理事長の村上宣道先生を迎えて第15回サマー・スクーリングが開催されました。最初は、世良田先生の「写真で見るOBIの歩み」の講義は、その時々

に働いて居られる主に心を向け、先人の尊い信仰の証しに思いを寄せる恵みの時でした。藤原先生の「使徒の働きと説教」の講義では、「イエス様を語る者がクリスチャンです。」と言うメッセージが心に突き刺さって来ました。きっと、私の「今後の学びのビジョン」に大きく影響が与えられるメッセージだと思いました。福井先生の「キリスト教教育について」の講義で、

信徒教育の卒業時に「何を学び、何を教わってきたのか」ではなく「自分の家族や友達を救える伝道の実践力が養われているのか」を問いたい、とのメッセージは、まさに私たち生徒が日々

に立ち止まって、自らを吟味すべき課題が示されたと思いました。

村上先生の「使徒の働きと伝道」の講義は、教会形成にとつて「御言葉に繋がり、祈りに専念する生活、クリスチャンとしての基本的な生活」が不可欠と知る時であり、同時に「あなたは本当に悔い改めて、バプテスマを受けて信仰をスタートしていますか。」と、絶えず主が問うて居られる事に気づかされた時でもありました。

最後に、増田先生は御身体の状態から参加を見合すことになりましたが、先生の病が癒される事を願って、皆が心一つにして、祈りに専心する恵みの時が多く与えられたスクーリングでありました。

## 宮内 芳枝(専修科生)

お茶の水聖書学院事務局でのお仕事を、心から主に感謝していただきます。参加できなかった年もありますが、今年で確か4回目になるかと思えます。

今回は増田誉雄学院長が体調を崩されて参加できず大変残念でした。でも、創立20周年記念の年でもあり卒業生がたくさん参加され、その方々の証しを聴くことが



でき、この学院での学びのすばらしさを再確認することができました。

学びを通し、十分に悔い改めをせずに主の前に出ている事に気づかされ、デボーションの姿勢を問われました。また、家に帰り、村上宣道先生の書かれた「使徒の働き」を本棚から取り出し、もう一度開いてみました。講義の続きを村上先生がまた持つてくださるといってお約束を、楽しみにしております。

これまで、音楽はいつも藤原先生の奥様がしてください。心軽やかな音色を聞きながらのスクーリングを過ごしております。今年、卒業生の田中恵子姉と三友庸子姉がご奉仕してください。卒業生のチームワークの良さに感心致しました。満たされた思いを胸に、軽井沢追分教会でのコンサートに向かいました。

## 軽井沢音楽科コンサート報告

7月6〜7日は、日本基督教団軽井沢追分教会にて第6回目の音楽スクーリングが開かれました。傘なしの恵まれた

好天気に一同喜びました。声楽科

4名と講師

そして伴奏

者2名計7

名オルガン

科1名講師

の計2名、

合計9名参

加(今回オ

ルガン科は

ケガ等で2

名の欠席)。

毎年プログラムの最後

にコンサートを開きま

すが、その為に緊張の一日二日

となります。朝は8時半から夜

は9時までのタイムスケジュール

を組みます。回を重ねること

に落ち着いて発表に臨めるようになって参りました。

今回喜んで会堂・オルガン・

美しい庭等を提供、くださいま

す教会の牧師、稲垣守臣先生、

学院長、増田

誉雄先生のお

姿が見られず

さみしい思

いを致しまし

た。演奏はO

BI20周年の

喜び感謝を込

めてのプログ

ラムを組み熱

い思いを心よ

り歌い演奏し

ました。約30名の方々の参加

にて学院長代行、世良田湧侍

先生の「祈り」をもって無事

終了。各々家路につきました。



# 学窓トピック

## 聖書科・音楽科

●2010年3月卒業予定者の、卒業研究指導が始まりました。本科、玉松陽子、田中美枝子、倉内一寿、西口修八、小宮明子、シムス由季子の6名が卒業研究に取り組みます。研究の祝福のために覚えてお祈りください。

●教会音楽デーが実施されます。日程は、2010年10月9日、13時30分～16時30分です。

今年、礼拝音楽の中でも大切な役割を担っているオルガンについて学びます。オルガンの構造や歴史、奏法、讃美歌と深いかかわりをもつコラール前奏曲をとりあげます。会場として、音響効果の良い礼拝堂にパイプオルガンを設置していただける浦和福音自由教会

をお借りし、講師には岳藤照子先生をお迎えします。後半には、コンサートも行います。学びと研鑽の機会としてご参加ください。

●夏季スクーリングが、7月5、7日の日程で、軽井沢にて実施されました。平行して、一般音楽科、第六回声楽・オルガン研修会と発表コンサートが、日本基督教団軽井沢追分教会にて開かれました。



### 2010年度後期開講科目

	月	火	水	木	金	土
11:00 ～ 12:30		新約概論 世良田湧侍		旧約聖書の思想と概説 IV (預言書) 西 満	聖書の世界 飯島 勅	
13:30 ～ 15:00		キリスト教説教入門 藤原導夫		ピリピ人への手紙解説 世良田湧侍	日本キリスト教会史 伊藤淑美	
				研究科		
15:30 ～ 17:00		ヨハネの黙示録と 福音書の黙示 福井誠		恵みか自由意志か … 伝統的諸課題の再考 中島 総一郎	教会史 横山武	
18:30 ～ 20:00		キリスト教人間学 堀 肇			ヘブル人への手紙を 読む 河村従彦	

- ・2010年後期の新約概論は、担当が世良田湧侍師に変更となりました。
- ・「恵みか自由意志か…伝統的諸課題の再考」「日本キリスト教会史」は、後期新規開講科目です。
- ・2011年3月、9月予定の海外研修ツアーは、2単位認定科目扱いとなります。

# クラス報告 『聖書の世界』

担当 飯島 勅

2004年からこの名称で私がこのクラスを担当するようになって今回で4回目になりますが、前回のクラスを終了した2007年の夏、胃に異変を覚え受診したところ胃癌であることが分かり入院手術となりました。これを知ったお茶の水聖書学院では、学院長自らが連絡を下さり、教師方が見舞いに訪れ、事務局を初め在校生・卒業生の皆さんは熱心に祈りに覚え、ある方は電話や電子メールで励ましの言葉を下さいました。私はどんなに慰められ強められたことでしよう。今、健康を回復しつつある中、このようなお茶の水聖書学院の暖かな交わりを思い、深く喜び、感謝に絶えません。

さてこのクラス「聖書の世界」、この名称だけでは何が学べるクラスなのか、はなはだ分かりにく

いことと思います。受講してくださいと初めて納得していただけるかも知れません。学院発行の「講義内容紹介」には次のように記されています。「聖書を正しく深く理解できるように、書かれた時代の文化・歴史・地理など『聖書の世界』について、聖書考古学の方法も用いて学びます。実際に聖書の世界に旅に出ることも予定されています。…」

しかし、聖書を正しく深く理解できるようにまず何よりも優先して求められることは、聖書への信頼です。聖書への深い信頼がなければ、そのことの実現は不可能だからです。そこで、このクラスが最終的に目指していることは、受講生が、より深い聖書への信頼を得るようになることに置かれています。

## 「聖書の世界を受講して」

本科四年 倉内 一寿



私は4月から飯島勅先生の「聖書の世界」を受講しております。事前の噂では写真や歴史資料などの視聴覚教材を用いての授業とのことでしたので期待を持って参加しました。ふたを開けてみると、噂に違わず毎回、飯島先生が実際に自分で旅行して撮影してきた写真や有名美術館や博物館所属の歴史資料などをOHPなどプロジェクトターを用いて説明してください、きわめて臨場感あふれる授業内容となっております。

また新しい情報や新説なども、丁寧に資料を用いて説明して下さっております。例えば、エデンの園はヴァン湖の付近ではないとか、アブラハムの生まれ故郷のカルデアのウルは、伝統的には現在のクエートの近くとされているが、ハランの北35 Kmのウルファの方が聖書的ではないかなど、初めて聞くことが多く大変興味を持って参加しております。

ただ、せっかくの資料や写真やDVDも視聴覚設備が悪く、見えにくいのはとても残念です。以前、武蔵野美術大学映像学科の視聴覚設備を新しく整備した経験がありますが、暗幕やスクリーンを取付けたり、プロジェクトターも天井に据え付けるなどして大きく投射できれば、この授業はもっと生かされるのではないかと思います。

# OBI 20年の歩み

1999	1998	1997	1996	1995	1994	1993	1992	1991
4・12	3・6	4・13	3・8	4・15	3・11	3・12	4・13	4・22
第9期入学式・始業式	第6回卒業式、卒業生13名	第8期入学式・始業式	第4回卒業式 卒業生13名	第6期入学式・始業式 41名入学	第5期入学式・始業式	第1回卒業式 卒業生22名	第2期入学式 63名入学 毎月第4木曜 O C Cメデイーション（8Fオルガン）	開校式、入学式、記念セミナーⅠ、Ⅱ、Ⅲ 講師クライド・クック博士 グリー・コリンズ博士の聖書カウンセリング・セミナー
					24	10	7	5
					11	5	4	27
					10、17、	12月	12	30
					赤星進博士「人生の四季」セミナー	バリ・ロス博士特別講義「預言者達のプロフィール」	3	
					第1回卒業記念「ローマと聖地イスラエルの旅」	初回サマー・スクーリング開催（以後毎年開催）	4	
					第4期入学式、始業式	サマー・コンサート開催（しばらく毎年開催）	12	
						第3期入学式 44名入学		

## 20周年準備

委員長 三浦喜代子

昨年5月に運営委員会を立てあげて以来今日まで、20周年の活動は主の大きな祝福の内に予定通り進められてまいりました。その一つである20周年記念サマー・スクーリングが、去る7月5日から7日まで、軽井沢恵みシャレーで行われました。特別講師として村上宣道O C C理事長をお迎えすることができました。先生は使徒の働きから2回の講義を熱く語ってくださいました。卒業生が多数参加され、各講義の司会や証し、奏楽奉仕をして盛り上げてくださいました。

### 記念誌発行

記念誌は委員総出で文字通り汗を滴らせながら取り組み、何度も校正を重ねましたがまもなく完成の予定です。10月25日式典当日にはお手渡しできるでしょう。



### 記念式典

これからの準備は記念式典に集まります。関係者各位にはすでにご案内、招待状を発送いたしました。内容豊かなプログラムが立てられております。村上宣道師、湊晶子師、さらに遠く米国よりO B Iの名付け親であられるロス先生ご夫妻をお招きしています。

### 記念旅行

20周年記念行事は来年まで続きます。2011年には、二つの海外研修旅行が計画されています。

# 20周年記念特集

2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000
10・1	4・9 3・10 4・10	3・14 3・18 11・21 4・11 3・15 3・12	6・1 5・3 4・5 3・31	3・13 4・7 3・15 5・7	4・8 4・5 3・19 3・2	4月 4・9 3・3	11・21 4・10 3・4
日本福音主義神学校協議会に加盟	第17期入学式・始業式 第14回卒業式 卒業生4名 第16期入学式・始業式 第13回卒業式 卒業生7名 「出エジプトの道を訪ねて」エジプト・イスラエル他	創立15周年記念の集い(106名) 第15期入学式・始業式 「パウロの足跡を訪ねて」ギリシャ・トルコ 第12回卒業式 卒業生9名 JEA(日本福音同盟)に加盟	新企画委員会発足 山崎製パン篤志献金(第1期) 第14期入学式・始業式	第11回卒業式 卒業生7名 第13期入学式・始業式 第10回卒業式 卒業生11名	飯島記念食品科学振興財団助成金 本田弘慈召天 第12期入学式・始業式 無限責任中間法人お茶の水聖書学院として登記	第11期入学式・始業式 26名入学 ステューワードシップ・ファンデーション奨学金設置 第9回卒業式 卒業生16名	第10期入学式・始業式 10周年記念OB IはOCCから経済的に独立 第8回卒業式 卒業生8名

2010	2009	2008
10・25 4・5 3・6	11・16 4・6 3・31 3・7	2・9 4・7 3・8
20周年記念感謝会	第20期入学式・始業式 15名入学 第17回卒業式 卒業生6名 一般社団法人お茶の水聖書学院として登記	第19期入学式・始業式 山崎製パン篤志献金(第2期) 第16回卒業式 卒業生7名 「イタリアの旅8日間」ミラノ・アッシジ・ローマ他

一つは3月に聖地イスラエルへ、もう一つは9月末にドイツ、スイスへの宗教改革の旅です。ご希望の方は今からご予約を立てて参加されますようにご案内します。

また、20周年をこまに進めてこられましたのは、実に皆様方の熱情と献金等ご支援の賜物です。篤くお礼申し上げます。式典の席でお会いできますようにお祈ります。

最後になりますが、かねてから体調を崩されて療養に励んでおられた増田誉雄学院長が、たいへん悲しく残念なことです。9月4日、救世軍ブラス病院にて息を引

き取られ天に凱旋していかれました。思えば、先生は数年前からこの20周年をたいへん心待ちにしておられました。委員会の度に必ず出席され、御言葉から奨励され、力強いお祈りをしてくださいました。また、記念誌の制作過程も喜んでうれしうに見ておられました。学院の将来に幻をお持ちになり、式典の喜びを先取りしているかのように見受けられました。

先生の遺志をしっかりと受け止め、主のみ栄えを反映する20周年式典になりますよう、さらにご加勢くださいますように心よりお願い申し上げます。

# OBI会計報告

(2010年4月21日～8月20日)

OBIの働きと経済状況は、例年と比較してほぼ横ばい状態で経過しております。また、昨年11月にかつての中間法人から一般社団法人へと組織変更が行われました。それに伴い理事の改選と参与の役が加えられました。新組織で昨年11月から再出発しております。

## ◎後援会献金

### 後援会維持会献金

有田 貞一	有田美榮子
飯島多稼夫	猪狩 友行
小野沢恵子	金本 悟
木下 順子	国東 恵子
窪井 節子	小林喜久男
斉藤とし子	佐藤 敬
増田 誉雄	松岡 常子
須子 都	三浦喜代子
世良田湧侍	田中 恵子
中川 和代	浪井 弘子
西 満	平松 庸一
福井 誠	藤原 導夫
増尾 善文	宮本三枝子
三浦 秀彌	目崎由紀子
森 登	森本 馥
依田 和子	植木 朋子
芳賀 功	中島總一郎
日名 富子	

で、4月以降の献金者の方がリス  
トの対象となっております。

昨年からのご協力の方はすでに  
前号までに報告されておりますの

## 後援会協力献金

羽鳥 明 脇坂 勇  
中山キリスト教会

佐野 盾一

## 20周年記念献金

(4月21日～8月20日まで)

市川北バプテスタ教会  
山口 民雄 有田貞一・美榮子  
大淵 セツ 鈴木 芳宣  
小川 智子 中村 良子  
阿部 幸平 伊藤 洋子  
戸川 偕生 尾原 光彦  
世良田湧侍 福井 誠  
夏季スクーリング参加者  
渡辺 英子 田中 恵子  
飯島多稼夫 猪狩 友行・多佳子  
吉田 和子 松岡 常子

◎OBI 献金  
指定感謝献金  
(退院感謝) 三浦 秀弥

OBI感謝献金  
小平聖書キリスト教会  
市川北バプテスタ教会  
鶴瀬恵み教会  
森本 馥 窪田 淳子  
島田 裕子 杉山 礼子

## ご報告

増田誉雄学院長は9月4日午前11時40分、かねてから入院中の救世軍プース記念病院から神のみもとに召されました。

先生は本年2月ごろから体調を崩され、入院の日々が続いていました。しかし、治療中にもかかわらず、学院へはいつものようにおいでになり、元気で担当クラスの授業をされていました。

ところが6月15日のクラスを終えてから急に容体が悪化し、再び入院、一時退院されましたが、軽井沢でのサマー・スクーリングには出席できませんでした。

8月9日にプース病院に入られ、以後は悪化の一途を辿りました。

9月5日(日)前夜式、6日(月)には告別式が、経堂めぐみ教会で行われ、多数の方々が参列してお見送りしました。